

-特集2- 三田市の表彰

さつき賞はどんな賞？ 昭和55年に設けられた三田市最高位の賞で、市花さつきにちなんで名付けられました。

三田市表彰「さつき賞」

地域活動や社会福祉など、永年にわたりまちづくりや地域づくりに貢献された個人や団体の功績をたたえ表彰します(6人)。

市は、さまざまな分野で活躍された個人や団体に「三田市表彰(さつき賞)」「さんだチャレンジャーズアワード」を贈ります。受賞者の皆さんへは、7月1日に開催する「感謝と飛躍へのつどい」で各賞を贈呈します。
※関係者以外来場不可 問い合わせ=秘書広報課(559-5028 FAX 564-6563)



にわ まさる
丹羽 勝さん (74歳) = 屋敷町



もりもと むつこ
森本 睦子さん (58歳) = 南が丘



まるやま としかつ
丸山 敏勝さん (78歳) = 東本庄



こばやし たかし
小林 孝さん (77歳) = 武庫が丘



よしだ たかし
吉田 孝さん (69歳) = 東野上



はぎわら たけひさ
萩原 健久さん (79歳) = 乙原

約400年の歴史を誇る佃煮製造販売会社「(株)丹波屋」の代表取締役社長に就任(昭和48年9月)以降、「松茸佃煮」を高級贈答品として全国の百貨店に売り込み、また、地元食材を使った商品は三田市を代表する特産品として全国の人に親しまれるなど、三田市の産業振興に多大な貢献をされました。

産業功労

「お客様第一」で、喜んでいただけることを

Interview

いつも「お客様第一」を大事にしてきました。贈り物として「贈りたい」、そして「もらってよかった」と喜んでいただけるものを、創業当時から伝統の製法を守り、大切に創り続けてきました。自然の恵みに感謝し、素材一つ一つに心を配りながら新たな食文化の提案と食べることの愉しさを多くの皆さんに伝えていきたいです。

平成19年度から三田市健康推進員、平成21年度からは三田地区代表として、特定健診や各種がん検診などの受診勧奨、健康体操、健康料理教室など、15年以上にわたって地域住民の健康づくりに尽力されました。また、多世代交流などを行うひろばの運営にも積極的に参画し、地域の居場所づくりにも貢献されました。

福祉功労

「笑顔と元気」自分も楽しみながら日々活動

Interview

同じ地区の人から声をかけてもらい、健康推進員に。地域の活動では、いろいろな人に出会えることがたくさんありました。いつも大切にしているのは「笑顔と元気」。地域の皆さんが笑顔で元気に過ごせるためにはまずは自分から。体の健康はもちろんのこと、心の健康も保てるよう、自分も楽しみながら日々の活動を行っています。

平成25年に地域の老人会会長に就任し、楽しいクラブ作りを目指して活動、各行事の企画・運営に努められました。本庄地区老人クラブ連絡協議会会長としても本庄小学校園との交流会や地区内の活動の発展に貢献。平成30年からは市老人クラブ連合会会長に就任され、特に魅力ある老人クラブ作りにも尽力されました。

福祉功労

みんなのおかげで自分がある。できる限りの恩送り

Interview

「情けは人のためならず」何かあったときにいつも思い出す言葉です。振り返ってみると、学生時代、社会人、地域で活動するようになって、周りのみなさんにごく助けられてきました。今の自分があるのは、周りの人のおかげです。老人クラブでは、みんなが健康で長生きできるよう、楽しく気軽に参加できる行事や催しを開催。自分にできることをできるだけさせていきたいと日々活動してきました。

平成12年度から保護司として、罪を犯した人や非行に走った少年の改善更生と地域の犯罪予防に尽力。豊富な経験や知識・人脈を通じて、小・中学校、三田警察署、福祉関係者と連携し、誰もが住みやすいまちづくりに貢献されました。阪神北地区薬物乱用防止指導員としても、違法薬物の危険性について啓発活動を行われました。

福祉・防犯功労

「地域のためになった」と感じるのが嬉しい

Interview

ボランティアグループの先輩に誘われ、保護司に。どんなことをしているのかも知らずに引き受けたのを覚えています。いつも心がけているのは、「相手の気持ちや立場になって話をきくこと」。向き合っていくと、一人一人真面目で、寂しさを抱えている一面が見えてきます。担当した子どもたちとまちで再会したとき、あいさつをしてくれることがありました。地域のためになっていると感じるときは嬉しいですね。

平成27年度から広野地区まちづくり協議会「元気な広野をつくる会」会長に就任。広野地区北部の交通不便解消に向け、「広野地区地域交通整備準備委員会」を立ち上げ、地域内交通の改善に検討を重ねてこられました。令和3年7月、本市初となる市と地域の共創による有償運送サービスの実現に多大な貢献をされました。

自治・福祉功労

生まれ育った地域のこと、大事にしたい

Interview

昨年7月、自家用車を使った乗り合いサービス「あいのり1号」を始めました。自宅近くの専用乗り場から小野バス停まで運送し、小野バス停からは神姫バスに乗り換え。三田駅方面へのアクセス向上を図ります。「地域のことはみんなでやろう」と同じ気持ちでいてくれるから、自分一人ではできないことも、みんなで取り組んでこられました。生まれ育った地域のこと、大事にしていきたいです。

本市の地域交通のあり方の礎となった互助輸送の実現にむけ、リーダーとして地域をまとめられ、安定的な支援活動に尽力されました。令和3年11月には、持続可能な地域の送迎システムの実現に向け、ボランティアによる活動から有償運送サービスへの切り替えにあたり、会長として多大な貢献をされました。

自治・福祉功労

地域で取り組むこと。仲間意識を大事に

Interview

「地域の皆さんに喜んでもらえることを」いつも考えてきました。平成30年度から、地域のボランティアで自宅からバス停などへの送迎を行う「お互いさま之助」を運行。昨年11月からは有償運送に切り替えました。活動は、地域一体で取り組まなければならないこと。何よりも仲間意識を大事にしています。気遣い、心遣い、お互いさまの気持ちを持ってこれからも取り組んでいきたいです。

昨年度1年間にスポーツや文化活動などにおいて、チャレンジ精神をもって取り組み、市民に夢や希望を与える活躍をされた個人や団体の功績をたたえとともに、今後の更なる挑戦と活躍を期待し、表彰します(10人・1団体)。

さんだチャレンジャーズアワード



スポーツ

三田学園弓道部 (高校3年生)

=南が丘=

令和3年12月、第40回全国高等学校弓道選抜大会で男子団体第3位に入賞されました



スポーツ

かたいせ たける 片伊勢 武 アミンさん(18歳)

=学園=

令和4年1月、第71回全国高等学校フィギュア競技選手権大会で優勝、第77回国民体育大会冬季大会少年男子で個人準優勝・団体優勝されました



スポーツ

おかだ ゆあ 岡田 結愛さん(7歳)

=あかしあ台=

令和4年1月、卓球タレント発掘・一貫指導育成パスウェイ事業(U-7/7歳以下)で準優勝されました



スポーツ

おかだ のあ 岡田 希愛さん(7歳)

=あかしあ台=

令和4年1月、卓球タレント発掘・一貫指導育成パスウェイ事業(U-7/7歳以下)で第4位に入賞されました



スポーツ

おかだ そら 岡田 蒼空さん(9歳)

=あかしあ台=

令和4年1月、卓球タレント発掘・一貫指導育成パスウェイ事業(U-10/10歳以下)で優勝されました



文化

ミチコさん(37歳)

=神戸市=

三田市出身。シンガーソングライターとして活動されながら、三田市初のストリートピアノ設置の実現に尽力されました



文化

まるお こういち 丸尾 宏一さん(50歳)

たかすき
=高次=

美術団体「新制作協会」主宰の展覧会で絵画部賞や新作家賞の受賞実績が認められ、令和3年10月「新制作協会」の会員に選出されました



文化

とみた せいや 富田 誠也さん(26歳)

かみほんじょう
=上本庄=

三田市初のプロ棋士として、第72回 NHK杯テレビ将棋トーナメント本戦に出場されました



文化

さいとう めい 齊藤 萌衣さん(14歳)

=武庫が丘=

令和3年12月、読売新聞 第71回 全国小・中学校作文コンクール 中学校の部で「盲導犬、嫁ぐ」が文部科学大臣賞を受賞されました



スポーツ

やまな りな 山名 里奈さん(22歳)

=山梨県=

三田市出身。令和3年11月、第45回全日本選抜ショートトラックスピードスケート選手権大会で女子総合優勝されました



スポーツ

にしおか ひとみ 西岡 瞳さん(16歳)

=弥生が丘=

令和3年10月、第13回全国カデ・エペフェンシング選手権大会(女子)で優勝されました